

枚方公済病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名 (承認番号)	大腿骨近位部骨折術後の理学療法レジストリー(JPTHD)構築に関する研究 - 大腿骨近位部骨折術後の日常生活動作に影響する因子の検討 - (No. 2024-013)
当院の研究責任者 (所属)	岡野 永求 (整形外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	真下 翔太 (聖路加国際病院)
本研究の目的	大腿骨(特に股関節)の骨折は、生命予後や日常生活動作に大きく影響を及ぼすとされ、寝たきりや要介護状態に陥る原因の一つとされています。骨折後の要介護状態と再転倒を回避するために、術後のリハビリテーションが重要であり、その経過や効果を評価していく必要があります。しかし、その全国規模の全容を捉えられるデータベースがまだありません。全国の理学療法士が情報を共有できるシステムを作り上げることは有効なリハビリテーションや評価を科学的に確立するために大変有用です。日本運動器理学療法学会が作成した大規模データベースに参加、協力し、リハビリテーション医療の発展に寄与したいと考えています。同時に、得られたデータから当院のような急性期病院における患者特性が、退院後の日常生活動作能力や機能的予後にどのように影響するかを検討することで、今後のリハビリテーションに役立てたいと考えています。
調査データ該当期間	実施許可後～2027年3月31日
研究方法 (使用する試料等)	通常のリハビリテーションで得られた情報をインターネット上のデータベースに登録します。 (性別、受傷時年齢、身長、体重、受傷前住居、受傷前歩行能力、受傷側、骨折型、術式、手術待機日数、転帰先、既往歴、認知機能、リハビリテーション介入状況、移動自立度、歩行能力、運動機能評価など)
試料/情報の他の研究機関 への提供および提供方法	情報は完全に匿名化された状態でインターネット上のデータベースに登録されます。
個人情報の取り扱い	保存された情報等は他の医学研究への利用を目的に提供されることがあります。その際には提供の可否について日本運動器理学療法学会理事会、本研究事務局の意見を聞き、適切と判断された場合に限り提供します。提供されるデータは、データベースに登録・保管されている情報で、研究に参加して下さった患者様の個人を特定できる情報は含まれていません。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	枚方公済病院 整形外科 岡野永求 072-858-8233
備考	